

食物アレルギーを知ろう（３）

今月は、身近に潜む食物アレルギーについて、事例とともにお話します。

近所の子どもにクッキーを渡した。

嬉しそうに食べていると思ったら、体調に異変が。

小麦アレルギーだった。

食べ物を渡す時はアレルギーを確認しなければならなかったのか・・・。

卵料理で使ったトングで他の食べ物を取り分けたら、発症した。

トングに卵が付いているようには見えなかったけど・・・。（成分が付いていた）

牛乳パックを片づけていたら、残っていた中身が飛び出し

そばにいた人にかかってしまい、発症した。

牛乳アレルギーだった。

このように、

自分自身に食物アレルギーがなくても、

思いがけないかたちで関わる可能性があります。

どんな状況であっても、細心の注意が必要です。

例えば、近年大きな災害等で開設・利用する機会が増えてきている避難所での生活。

アレルギーをもつ本人・家族はもちろん、

運営者、そして共に過ごすまわりの人も

食物アレルギーを正しく理解することで

緊急時の助け合いの場である避難所を、安全な避難生活の場に出来ます。

誰もが健康的で安心な、楽しい食生活が送れるよう、

日々の生活のなかで食物アレルギーについて意識してみましよう。